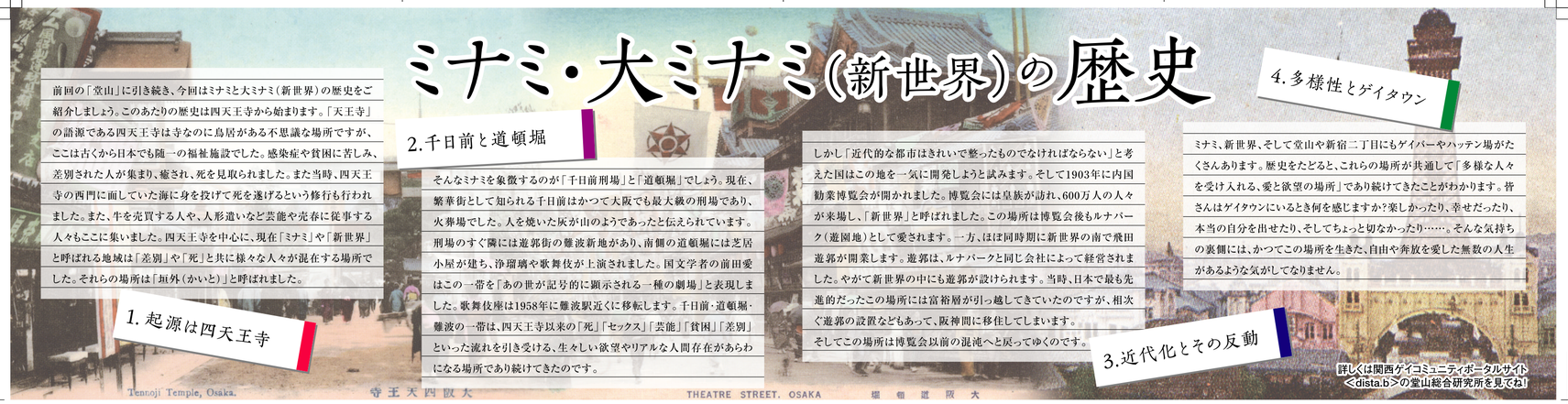

ミナミ・大ミナミ（新世界）の歴史

前回の「堂山」に引き続き、今回はミナミと大ミナミ（新世界）の歴史をご紹介しましょう。このあたりの歴史は四天王寺から始まります。「天王寺」の語源である四天王寺は寺なのに鳥居がある不思議な場所ですが、ここは古くから日本でも随一の福祉施設でした。感染症や貧困に苦しみ、差別された人が集まり、癒され、死を見取られました。また当時、四天王寺の西門に面していた海に身を投げて死を遂げるという修行も行われました。また、牛を売買する人や、人形遣いなど芸能や売春に従事する人々もここに集いました。四天王寺を中心に、現在「ミナミ」や「新世界」と呼ばれる地域は「差別」や「死」と共に様々な人々が混在する場所でした。それらの場所は「垣外（かいと）」と呼ばれました。

1. 起源は四天王寺

2.千日前と道頓堀

そんなミナミを象徴するのが「千日前刑場」と「道頓堀」でしょう。現在、繁華街として知られる千日前はかつて大阪でも最大級の刑場であり、火葬場でした。人を焼いた灰が山のようであったと伝えられています。刑場のすぐ隣には遊郭街の難波新地があり、南側の道頓堀には芝居小屋が建ち、浄瑠璃や歌舞伎が上演されました。国文学者の前田愛はこの一帯を「あの世が記号的に顕示される一種の劇場」と表現しました。歌舞伎座は1958年に難波駅近くに移転します。千日前・道頓堀・難波の一帯は、四天王寺以来の「死」「セックス」「芸能」「貧困」「差別」といった流れを引き受ける、生々しい欲望やリアルな人間存在があらわになる場所であり続けてきたのです。

3.近代化とその反動

しかし「近代的な都市はきれいで整ったものでなければならない」と考えた国はこの地を一気に開発しようと試みます。そして1903年に内国勧業博覧会が開かれました。博覧会には皇族が訪れ、600万人の人々が来場し、「新世界」と呼ばれました。この場所は博覧会後もルナパーク（遊園地）として愛されます。一方、ほぼ同時期に新世界の南で飛田遊郭が開業します。遊郭は、ルナパークと同じ会社によって経営されました。やがて新世界の中にも遊郭が設けられます。当時、日本で最も先進的だったこの場所には富裕層が引っ越してきていたのですが、相次ぐ遊郭の設置などもあって、阪神間に移住してしまいます。そしてこの場所は博覧会以前の混沌へと戻ってゆくのです。

4.多様性とゲイタウン

ミナミ、新世界、そして堂山や新宿二丁目にもゲイバーやハッテン場がたくさんあります。歴史をたどると、これらの場所が共通して「多様な人々を受け入れる、愛と欲望の場所」であり続けてきたことがわかります。皆さんはゲイタウンにいるとき何を感じますか？楽しかったり、幸せだったり、本当の自分を出せたり、そしてちょっと切なかったり……。そんな気持ちの裏側には、かつてこの場所を生きた、自由や奔放を愛した無数の人生があるような気がしてなりません。

詳しくは関西ゲイコミュニティポータルサイト<dista.b>の堂山総合研究所を見てね！

>>>TEACH

教えて、兄貴!! 第5回

秋の夜長におすすめ ゲイムービー（初級編）

外が寒くなると部屋の中であったりしたくなるよね。でも部屋でテレビ見ているだけだと退屈しちゃうし…、そんな時にぴったりの、みんなで観てアガる作品や、一人でじっくりと観たいゲイムービーについて聞いてみた。

みんなで観たらアガる映画ってありますか？

パーティームービーにおすすめなのは、『ショーガール』（1995年・米）。ベガスのショービズ界でのしあがろうとするショーガールの話なんだけど、下品で、ゴーカで、再現したい名シーンがてんこ盛り。女同士のビッチな絡いもアガるけど、主人公のレズシーンになぜかアガるわ～（謎）

そして、『プリシラ』（1994年・豪）。アカデミー衣装デザイン賞を受賞したキンプな衣装は必見！決まるだけでなくゲイプライドを感じさせる泣きもあり、全編を通じて今はなき（？）王道のドラグショーが、ゲイ・ディスコの古典にのせて繰り広げられるので、これを観てクィーンを目指すのもあり？

一人でじっくり観るのに良い映画は？

『セルロイドクローゼット』（1995年・米）。ハリウッド映画の超ノンケ・ストーリーの中にそっと滑り込ませた“ゲイ的なもの”。観客も必死にそれを探し出してきた歴史を知ってはほしい！ゲイ映画のカタログ的な側面もあるので（120本以上の作品を検証！）、これ1本観て、お勉強してみては？

『ハッシュ！』（2001年・日本）。橋口監督は、日本では数少ないゲイフィルムメーカー。彼の作品からは自分がゲイであることを受け入れていく過程が感じられるんだけど、ハッシュはある意味その集大成。初めて一緒に暮らすゲイカップルの日常を等身大に描いた作品なので、「恋人」「家族」というものを、希望を持って考えるきっかけになるんじゃないかな？

今回の兄貴

香田正廣さん（映画ライター）
dista下3ヶ月に1度～CAMP! Midnight Movies～をシモーヌ深雪と共に開催中。次回は12月20日の予定。PLuS+2008でも大好評だったタロットリーディングを本格的に始動。
問い合わせはthe.9th.jupiter@gmail.comまで！

>>>CRUISING

THE ケツマン DAぇSH

♂その71 ウリセン奮闘記(?)

86-yo（ヤロー ヨ）です。お久しぶりね。

最近あたし、前々からやりたかったウリセンはじめたの。ウリセンって意味わかる？まぁ男同士の風俗なんだけどね。お金もらってエッチする職業のことをさすのね。だから自分のタイプじゃない人ともセックスしないといけないんだけど、まぁ多少我慢すればできるわって思って始めてみた。

でも今回はその内容をネタにしようと思ったの。というわけで安基に始めたウリセン。初日ホテルに出張だったんだけど、すっごいドキドキしたわ。どんなお客さんかとかってわからないし、とんでもないのだったらどうしようとか、立たなかったらどうしようとか色々考えて部屋の前でチャイム鳴らして待ってたの。そしたら割かし男前でびっくりしたわ。ラッキーって思ってちょっとテンションあげて、サービスたっぷりでやったから満足してもらったわ。初日は良かったのよ。でも次の日は散々で、年金もらってるおじいちゃんとか、ギャーって感じだったわ。気持ちよすぎて立たないんですよとか言い訳しながらこなしたけど、やっぱりこういうもんよねって思ったわ。

で、口直しにハッテン場に行ったんだけど全然ネタる気がおきないの。見るだけで満足しちゃうのよね。セックス嫌いになったのかしら。

自分が病気にかかったんじゃないかとか気になって悪いなって思ってエッチできなくなってしまったのよね。ウリセンって一見凄く稼げるイメージあるけど病気のリスクとか考えたら、安いかもしれないわって思ったり、やめようかしら、でも手元に貰ったお金を見るとあと少しだけって思ってしまう。

当分恋人できないわね、この寒い時期に。ダウンジャケットでも買って一人暮まろうかしら。それともウリセンでも買おうかしら。もちろん他の店よ。

>>>LIFE

ポジ・ネクスト・ドア

“HIV陽性者”といっても、感染が判明したときの気持ちや状況は様々で、日々感じていることや思うことも もちろん千差万別。単にひとくくりにはできないそれぞれの“ポジティブゲイライフ”をこのコーナーで届けています。

毎年恒例のPLuS+（プラス）に、今年もfollowが参加しました！青空のもと、扇町公園でブースを出し、多くの方と話し、昨年に引き続き「HIVについておもうこと」というテーマでメッセージをいただきました。毎年思うことだけど、熱気にあふれたこの場所で、「＋」であろうと「－」であろうと関係なく、共に「HIV／AIDS」について考える機会を持てることの素晴らしさを噛み締めていました。

また、SaL+（サルポジ）でfollowが連載しているコラム“Posi Next door”が、誌面を飛び出し、PLuS+にあわせて交流会を開催しました。例年はPLuS+の翌日に開催していましたが、今年はなんと同日開催を決行！こちらでも、多くのHIV+の方達と、アットホームな雰囲気の中、意義ある交流を持つことができました。病院、診察、投薬、恋愛、セックスetc.、話題は多岐に渡りました。同じ疾患を持つ者の悩みを共有しつつも、生き方、価値観、環境、体調など、生活者として一括りには出来ない部分も多く、そんな違いを知っていただける機会にもなったのでは？とおもっています。

PLuS+以前の、関西でHIV十の方達が交流を持つ機会など皆無に思えたあの頃から、私達を取り巻く環境が着実にかわってきたことを実感した意義深い一日でした。

来年もそんな素敵な時間・環境を皆さんと共有し、一緒に作りあげれればなんて、かなり気が早いかな（笑）

follow www.follow-web.com info@follow-web.com

>>>HUMAN

今月の「顔」 vol.19 ヒロアキ

毎月表紙を華やかに飾ってくれるカバーボーイくんの人間像をちょっとだけお見せするコーナー

――普段どんな学生生活を送っていますか？

今、大学で物理を専攻していて、このまま院に進んで将来的にはエンジニアになろうかなと考えています。でも講義が難しくって、今学期頑張らないとヤバイんです。

――休日は何をしている？

学校でアカペラサークルに入っているんですが、その練習をしたり時々色んな駅でストリートライブをしています。（＾～＾）

オンナなんでみんなに迷惑がかからないように頑張ってます。勉強はしていません。

――2008年も後一ヶ月ちょいですが、どう過ごしますか？

友達とワイワイ鍋とかしたいですね！後は自分を磨きたいです！（肉体的にも精神的にも）でも勉強はしません。

――あなたにとってのSafer SEXって？

バックするときはゴムで、ゴム無いときは手コキかな！ステキな兄貴、いっぱい勉強させてください！

>>>EAT

堂山やミナミから歩ける範囲にあるオモロイところ、オイシイお店を訪ねるコーナー

マリキータ・オニツカ 夜のグルメ世界紀行

ヒデヨちゃん一枚握り締めてバランスの取れた晩ご飯食べにいくなどこかしら？　…こんな課題（？）に取り組むため、難波界隈のめしテリアに行って参りました。めしテリアってば、ガラスケースにズラーって並べてるおかずの中から好きなの取って、別にご飯とか味噌汁（アタクシの好みは勝汁、ふたじるネ…）を頼んで、自分なりの定食が組める食堂のこと。ああいう店って何でいうのかしら～ん、って予ってた んですけれど、最近、某m＊＊＊＊話が「めしテリア」って呼び方してたので早速使わせていただく。この界隈だと、80年代くらいまで、くだるまっていうろ店があって、紅生姜をそえたややくご飯にアサリの味噌汁、上品なおかずの組み合わせがなんともいえず素敵なお店でした。20年経っても味覚って甦るものなのですネ……ま、それはともかく、バブル期と違って現代のめしテリアは質実剛健路線。くしみず＞も＜電田屋＞も、おかず二品にごはんと味噌汁がヒデヨちゃん一枚ポッキリでイケルし、何より「組み合わせの数を入れたら全メニュー制覇するには何十回通えばいいのかしら？」って思わせるところが、今流行りの定食屋さんと一線を画す実質ですわネ。味のキレのよさではくく電田屋＞も、おかず品にごはんと味噌汁がヒデヨちゃん一枚ポッキリでイケルし、何より「組み合わせの数を入れたら全メニュー制覇するには何十回通えばいいのかしらっ